

# Do the Challenge.

ヤマハ発動機スポーツ振興財団は、  
スポーツに関連する幅広い分野で  
世界の舞台へ大きくはばたこうとしている  
あなたの情熱的なチャレンジを応援します。  
グローバルに活躍することを目指し、  
高い目標を掲げて取り組んでいる、  
個人の方、グループ・団体のみならず、  
「スポーツチャレンジ助成」制度を活用して、  
夢や目標の実現に集中的に取り組む、  
充実した1年を過ごしませんか。

## YMFSスポーツチャレンジ助成

体験助成・研究助成

# 平成29年度 [第11期生] 助成対象者募集

応募締切

書類必着

[体験助成] 平成28年11月 8日 火

[研究助成] 平成28年11月15日 火

# YMFSスポーツチャレンジ助成 平成29年度〈第11期生〉 助成対象者募集

【応募締切】

書類必着

平成28年

体験助成  
11月8日(火)

研究助成  
11月15日(火)

プロセス重視の独自サポートプログラムによる価値ある1年間

YMFSでは「チャレンジの成果」だけではなく、高いチャレンジ目標の設定やそこに至る「プロセス」も大切にしています。

PDCAサイクルをしっかりと実践し、さまざまな経験や交流による成長や向上のきっかけづくりも行っていく、

プロセス重視の独自サポートプログラム※です。

※助成開始時・修了時に開催されるスポーツ・チャレンジャーズミーティングと中間報告会への参加を必須としています。

## 体験助成

【応募締切】平成28年11月8日(火)

※書類必着

世界にはばたく逞しい人材育成を目的に、アスリート、指導者、審判、スポーツジャーナリストなど、スポーツに関連する幅広い分野から、我が国のスポーツの普及・振興や競技水準向上につながる、高い志、明確な目的・目標、そして具体的なプロセスを持ち、チャレンジスピリット、フロンティアスピリットにあふれる人を募集しています。現在までの実績や今後の活動目標などを指標に、アドバンスド・ベーシック・ジュニアの3カテゴリーを設定しています。ご自身のチャレンジテーマに合ったカテゴリーを選択し、ご応募ください。

### ■募集要項

区分	応募資格	助成件数	助成金額	助成期間
アドバンスド	世界選手権など国際レベルでの実績を有する、中学3年生以上(応募時)の個人および、これによって構成されるグループ・団体	アドバンスド・ベーシック 合わせて、10件程度	1件に対し、 上限150万円	1年間 (平成29年4月～ 平成30年3月)
ベーシック	世界選手権など国際レベルを目指す、中学3年生以上(応募時)の個人および、これによって構成されるグループ・団体		1件に対し、 上限100万円	
ジュニア	ジュニア世代の国際大会での実績を有する、中学1年生以上(応募時)の個人および、これによって構成されるグループ・団体	5件程度	1件に対し、 上限50万円	

■注意事項:①(公財)日本オリンピック委員会(JOC)または日本パラリンピック委員会(JPC)の加盟競技団体など、中央競技団体の強化責任者(強化部長、監督など)による推薦が必要です。  
②プロ契約選手(競技を通して金銭を授受している方)や、他の団体等から助成または補助金を受ける方は、対象外となります。  
③体験活動が海外在留を伴う場合、在留先の学校や団体、機関の受け入れが確定している方(入学許可証等の証明書を提出のこと)

## 研究助成

【応募締切】平成28年11月15日(火)

※書類必着

世界にはばたく逞しい人材育成を目的に、スポーツ医・科学、スポーツ文化など、スポーツに関連する幅広い学問分野から、我が国のスポーツの普及・振興や競技水準向上につながる、学術的価値の高い学問・研究を目指す人を募集しています。現在までの実績や今後の活動目標などを指標に、基本・奨励の2カテゴリーを設定しています。ご自身のチャレンジテーマに合ったカテゴリーを選択し、ご応募ください。

### ■募集要項

区分	応募資格	助成件数	助成金額	助成期間
基本	研究機関等で研究職として活動に従事する、満40歳未満(応募時)の方。国籍は問いません。 ※教授職または教授職相当の職位の方は除きます。	10件程度	1件に対し、 上限120万円	1年間 (平成29年4月～ 平成30年3月)
奨励	大学院博士課程(博士後期課程)に在籍中または学位未修得者。満30歳未満(応募時)の方。国籍は問いません。	5件程度	1件に対し、 上限60万円	

■注意事項:①他の団体等から助成または補助金を受ける方は、対象外となります。②研究助成金における大学等の管理費(オーバーヘッド)への充当は認めておりません。  
③グループ・団体での応募の場合、代表の方が応募資格に該当すること。④研究活動が海外在留を伴う場合、在留先の大学や研究機関の受け入れが確定している方(受け入れを証明する書類を提出のこと)

### 申請から選考までの流れ

申請には、入力による「電子申請」と、印刷して提出していただく「書類申請」があります。

申請 1 WEBサイトでチャレンジャー基本登録

申請 2 電子申請 **申込締切** ●体験助成:平成28年11月7日(月) ●研究助成:平成28年11月14日(月)  
※いずれも日本時間の正午にて入力締切

申請 3 書類提出 **書類締切** ●体験助成:平成28年11月8日(火)必着 ●研究助成:平成28年11月15日(火)必着

選考 1 1次審査(書類選考) ▶ 選考 2 2次審査(面接選考) ▶ 選考 3 決定  
平成28年12月中旬予定 平成29年1月下旬予定 平成29年2月予定

●電子申請の締切前は混雑が予想されますので、申請内容の送信はお早めをお願いします。  
●本募集期間中に応募できる件数は、1人/1グループ・団体あたり1件のみとします。●グループ・団体は、代表者が申請を行ってください。

### スポーツ・チャレンジャーズミーティング、 中間報告会

当助成に採択された方は、助成開始時・修了時に  
行われる、スポーツ・チャレンジャーズミーティ  
ングと、中間報告会への参加を必須としています。

スポーツ・チャレンジャーズミーティング  
平成29年3月10・11・12日  
(会場:ヤマハリゾートつま恋・静岡県)  
平成30年3月  
(日時:会場未定)

中間報告会  
平成29年9月下旬または10月中旬の中で数日開催  
(うち1日を選択して参加)



2016年(平成28年)8月31日

～ ご案内 ～

**「スポーツチャレンジ(体験/研究)助成」**  
**平成29年度(第11期生)の募集について**

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS)では、スポーツを通じて世界にはばたく逞しい人材の育成を目的とした「スポーツチャレンジ助成」の平成29年度(第11期生)の募集を開始します。

「スポーツチャレンジ助成」制度は、アスリートをはじめ、指導者、審判、ジャーナリストなど、スポーツに関連する幅広い分野で、自己の夢の実現に向けてキャリアやスキルアップをめざして各種体験にチャレンジする人々を支援する「体験助成」と、スポーツ医・科学、スポーツ文化など、スポーツにかかわる学問・研究によりスポーツの普及・振興や競技水準の向上にチャレンジする人々を支援する「研究助成」の2部門からなり、それぞれ応募者の中から厳正な審査により各15件程度の個人・グループを選出し、助成金を交付する事業です。

詳しくは当財団ウェブサイトの募集要項をご覧ください。ぜひ貴団体・組織の関係者にご紹介・ご案内いただけますようお願いいたします。多くのチャレンジャーが当助成制度をきっかけに、自己を磨きあげ、世界にはばたくためのステップとなれば幸いです。

■ この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください ■

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS) 事務局: 担当・山本

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500番地 Tel. 0538-32-9827 Fax. 0538-32-1112 <http://www.ymfs.jp>

2016年(平成28年)8月31日

YMFS スポーツチャレンジ(体験/研究)助成  
平成29年度(第11期生)助成対象者 募集開始のお知らせ

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(Yamaha Motor Foundation for Sports)は、平成29年度(第11期生)YMFS スポーツチャレンジ体験助成および、YMFS スポーツチャレンジ研究助成の募集を下記のとおり実施します。

- 募集開始: 2016年(平成28年)9月1日(木)
- 応募締切: スポーツチャレンジ体験助成 2016年(平成28年)11月8日(火)  
スポーツチャレンジ研究助成 2016年(平成28年)11月15日(火)
- 審査・発表: 書類選考による1次審査及び面接による2次審査を経て、2017年(平成29年)2月上旬に発表予定

YMFS スポーツチャレンジ体験助成

世界にはばたく逞しい人材育成を目的に、アスリート、指導者、審判、スポーツジャーナリストなど、スポーツに関連する幅広い分野から、我が国のスポーツ普及・振興や競技水準向上につながる、高い志、明確な目的・目標、そして具体的なプロセスを持った、チャレンジスピリット、フロンティアスピリットにあふれる体験を募集。現在までの実績や今後の活動目標などを指標に3つのカテゴリーを設定しています。

区分	応募資格	助成件数	助成金額	助成期間
アドバンスド	世界選手権など国際レベルでの実績を有する、中学3年生以上(応募時)の個人および、これによって構成されるグループ・団体	アドバンスド、ベーシック合わせて10件程度	1件に対し 上限150万円	1年間 平成29年4月～ 平成30年3月
ベーシック	世界選手権など国際レベルを目指す、中学3年生以上(応募時)の個人および、これによって構成されるグループ・団体		1件に対し 上限100万円	
ジュニア	ジュニア世代の国際大会での実績を有する、中学1年生以上(応募時)の個人および、これによって構成されるグループ・団体	5件程度	1件に対し 上限50万円	

YMFS スポーツチャレンジ研究助成

世界にはばたく逞しい人材育成を目的に、スポーツ医・科学、スポーツ文化など、スポーツに関連する幅広い学問分野から、我が国のスポーツ普及・振興や競技水準向上につながる、学術的価値の高い学問・研究を募集。現在までの実績や今後の活動目標などを指標に2つのカテゴリーを設定しています。

区分	応募資格	助成件数	助成金額	助成期間
基本	研究機関等で研究職として活動に従事する、満40歳未満(応募時)の個人および、これによって構成されるグループ・団体。国籍不問。 ※教授職または教授職相当の職位の方を除く	10件程度	1件に対し 上限120万円	1年間 平成29年4月～ 平成30年3月
奨励	大学院博士課程に在籍中または学位未修得者で満30歳未満(応募時)の個人および、これによって構成されるグループ・団体。国籍不問。	5件程度	1件に対し 上限60万円	

[参考]平成28年度(第10期生)の助成実績

スポーツチャレンジ体験助成: 12件合計1,175万1,027円、スポーツチャレンジ研究助成: 15件合計1,292万6,500円

スポーツチャレンジNEXT(※): 4件合計199万8,500円、国際スポーツ奨学金(※): 4件合計480万円(1年分)

※平成29年度は、スポーツチャレンジNEXTと国際スポーツ奨学金を、スポーツチャレンジ(体験/研究)助成に統合した新制度で募集します。

この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS) 事務局 Tel. 0538-32-9827 Fax. 0538-32-1112 (担当・山本)

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500番地 <http://www.ymfs.jp>

[ご参考] 公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団について

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS)は、モータースポーツやマリンスポーツ、またサッカーやラグビーにおいて豊富な普及・振興活動の実績を持つヤマハ発動機株式会社の創立50周年事業の一つとして、平成18年(2006年)11月に設立しました。YMFSは、豊かな人間性の涵養に効果的なスポーツの振興、およびスポーツ文化の向上による国家社会への貢献を事業目的として活動しています。

■YMFSの主な特徴

- スポーツを通じて、夢の実現にチャレンジする人を応援(挑戦する姿勢が共感・賞賛される社会づくり)
- 「しつこさ(質濃さ)」という独自の視点を大切にした事業活動(プロセス重視の人づくり)

■YMFSの主な事業

事業	概要	主な活動
<b>スポーツチャレンジ助成事業</b> ▶ 助成制度 ▶ 各種サポートプログラム	世界にはばたく逞しい人材の育成をめざし、スポーツを通して夢・目標の実現に向かってチャレンジする人をサポートする。	助成金の交付に加え、助成対象者の成長を促すプロセス重視の支援を実施。 ・PDCAによる自己管理 ・異文化交流、等
<b>スポーツ振興支援事業</b> ▶ ヨットスクール・競技会 ▶ スポーツ教材提供 ▶ 自然・水辺体験促進	心身ともに健全な子どもたちの育成をめざし、スポーツをより身近に楽しむことや、自然・水辺体験を促進する。	体験を重視した子どもたちの健やかな心技体づくり。 ・スポーツ体験の促進 ・自然・水辺体験の促進、等
<b>スポーツ文化・啓発事業</b> ▶ 表彰制度 ▶ 調査研究 ▶ 情報発信	スポーツチャレンジ賞(表彰)や調査研究活動をはじめ、各事業の実績や知見、情報を広く社会に発信する。	チャレンジすることの素晴らしさを社会に訴求。 ・「縁の下の力持ち」を表彰 ・現場視点の調査研究、等

「プロセス重視」の独自プログラムによる価値ある1年間 **スポーツチャレンジ助成事業**



スポーツチャレンジ助成事業は、スポーツを通じて自己の夢・目標にチャレンジするアスリートや指導者、研究者等の活動を支援するヤマハ発動機スポーツ振興財団の中核事業です。本助成制度では、助成金の交付やチャレンジ成果だけでなく、高いチャレンジ目標の設定やそこに至るプロセスも大切にしています。PDCAプログラムを充実させ、さまざまな経験や交流によって成長のきっかけづくりも行っています。競技や研究の成果向上を支援するとともに、社会にとって有用な逞しい人材の育成もめざしています。

- スポーツチャレンジ体験助成  
(アドバンスド/ベーシック/ジュニア)
- スポーツチャレンジ研究助成  
(基本/奨励)

**独自のサポートプログラム**

目標設定/活動計画、四半期ごとの報告、中間報告会、成果報告会、YMFS スポーツ・チャレンジャーズ・ミーティング、スポーツ討論会、特別講演会、等